

インタビュー

長崎県対馬市出身の海上保安官が全国の各部署で活躍しているなか、2名の海上保安官が比田勝海上保安署の巡視艇あきぐもで勤務しています。彼らが、どんな動機で入庁したのか、今どんな仕事をしているのか？を聞きました！



巡視艇あきぐも船長

小島修太郎（こじましゅうたろう）
対馬市峰町出身、豊玉高校から
海上保安学校へ



巡視艇あきぐも主計士補

國分友暁（こくぶともあき）
対馬市峰町出身、豊玉高校から
公務員専門学校へ進み
海上保安学校へ

Q 1 海上保安庁に入ったきっかけを教えてください？

小島：複数の公務員試験に合格しましたが、海が身近な対馬出身ということもあり、海に関係する仕事に就きたいと思い当庁に入りました。

國分：対馬のきれいな海を大事にしたいと思い海上保安庁に入庁しました。

Q 2 入庁後の経歴を教えてください？

小島：海上保安学校航海コースを卒業後、対馬・苅田の巡視艇に乗船、第七管区海上保安本部総務部人事課で勤務、その後、海上保安大学校特修科へ進み、広尾（第一管区）、門司の巡視船に乗船、第七管区海上保安本部船舶技術部管理課で勤務後、現在の巡視艇あきぐも船長となりました。

國分：海上保安学校主計コースを卒業後、大分の巡視船に乗船し、現在の巡視艇あきぐも主計士補へ異動しました。

Q 3 現在はどんな仕事をしていますか？

小島：巡視艇あきぐもの船長として、国境最前線の部署で国境警備や海難救助等の業務にあたっています。

國分：巡視艇あきぐもの主計士補として、乗組員への食事の提供、国境警備、海難救助や防災業務等いろいろな業務を行っています。

Q 4 今の仕事のやりがいを教えてください？

小島：仕事の分野が多岐にわたりますので、入庁してからも自分の好きな道を探したり、やりがいを見つけたり、学んだりできることですかね。

國分：乗組員へ提供する食事が「旨い！」と言われたときにやりがいを感じます。

Q 5 仕事を進める上で大切にしていることを教えてください？

小島：若手、ベテランを問わず、皆それぞれの性格や考え方等があるので、それを踏まえた上で仕事を一緒に進めていこうと思っています。

國分：「わからないことは直ぐに聞く！！」わからないままにしておかないように心がけています。

Q 6 今後の目標を教えてください？

小島：今後もいろいろな仕事を経験し、ゆくゆくは故郷の対馬に戻り、**対馬海上保安部長**として、安全・安心な海を届けたいと考えています。

國分：國分が作るご飯は旨い！！と乗組員全員の**胃袋をつかみたい**と思っています。いずれは七管区の海上保安官全員の胃袋をつかみたいです。

最後に後輩へのメッセージをお願いします

小島：対馬出身で、あらゆる分野で活躍している先輩がたくさんいます。海上保安庁は、現在体制の強化を進めていますが、人手が足りていません！今がチャンス！

様々な魅力がある職場で、**対馬出身という誇り**を胸に一緒に頑張りましょう。

國分：海上保安庁は業務の幅がとても広いです。

体力に自信がある人だけしか入庁できないなんてことはありません。

ともに働ける日々を待っています！！



《比田勝海上保安署長からのコメント》

二人とも地元出身ということで、対馬の歴史や風土を大切にしており、「**美しい対馬の海も守っていきたい**」という熱気が日々伝わってきます。

また二人とも若い世代であり、これからの職場を活気付け、けん引していくものと私自身期待しており、楽しみにもしております。

離島出身の海上保安官が、ふるさとに舞い戻り奮闘する姿はいつ見ても清々しく頼もしくさえ感じます。

若い**皆さんも**是非興味があれば、**海上保安官への道を目指してみても**いかがでしょうか。